

国際ロータリー第 2550 地区 黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長:ホルガー・クナー
第 2550 地区ガバナー: 森本敬三
事務所: 〒325-0826 宇都宮市西原町 142
宇都宮グランドホテル内
TEL:028-651-2550
FAX:028-651-2551
E-mail: m2550@agate.plala.or.jp



ロータリーは機会の扉を開く

会長: 大島三千三 幹事: 秋葉秀樹
事務局: 株式会社 帝都
代表取締役: 秋葉秀樹
〒325-0051 那須塩原市豊町13-9
TEL:0287-62-3131・FAX:0287-62-5455
E-mail: hideki_akiba@akibacorp.com
例会: 国民の祝日を含まない週の水曜日
12:30 - 13:30
割烹石山 那須塩原市本町 5-5

第2919回 大島年度 第30回 会報 2021 04-21 司会 井出法君

会長挨拶 大島三千三会長



皆さんこんにちは、相変わらずコロナ感染者数は増え続けています。第4波は間違いなくきていていると感じます。暗いニュースばかりでコロナ鬱にならないように、先日ちょっとそこまで「楽しい、美味しい、嬉しい」話題を探しに、ドライブに出かけて来ました。

皆さんもご存知と思いますが、板室温泉街で春の風物詩となっている、102匹の鯉のぼり。那珂川に架けられ優雅に泳ぐ姿に、清々しさと強風に耐えている姿に凛々しさを感じました。そこから足を延ばし、緑のコントラストがだんだん淡い色に変わる那須湯本へ向かいました。長年この地に住みながらも、湯本温泉神社への参拝は初めてでした。湯本の桜とコブシとカタクリの花がみぞれ降る中、力強く咲き誇っていました。帰り足には、コロナ禍で客足が少なくなってしまったなじみのお店に伺って、旬な食材を堪能いたしました。近隣にも関わらず、こんなにも素晴らしい場所があったことを改めて感じ、充実した休日を過ごして休み明けの仕事への活力になりました。

さて、4月19日より那須塩原市においても、高齢者に対するワクチン接種が開始されました。医療従事者、高齢者、基礎疾患患者、高齢者施設勤務者への接種を優先し、そこから順次接種になると思われます。私たちへの順番は秋口以降になりそうです。コロナワクチン接種率が高いイスラエルでは、国民の60%が接種済みで50%が2回接種済みだそうです。日本に比べて国土が狭く、密集しているのでワクチンの配送チェーンも効率的である。また一番力を入れたのが、ワクチンクリニックを1週間で全土に展開した。との事「マスクを外した生活がなんか変な感じです。」と市民はインタビューに答えていました。私たちも、マスクから早く解放されたいものです。

幹事報告 秋葉秀樹幹事



皆さんこんにちは。

本日は西那須野ロータリークラブより週報が届いております。現在回覧しております。本日の報告は以上となります。

出席報告 出席委員会 田中徹君 (出席規定の免除会員数7名)

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU 数	修正出席率
本日 (4月21日)	37 (7)	32 (5)	5 (2)	91. 0%		
前回 (4月14日)	37 (7)	31 (4)	6 (3)	91. 0%	1	95. 0%

欠席の場合は前日 9 時 30 分までに次のいずれかにご連絡を。電話 62-0128、FAX62-1076 (以上石山桂子)
メール gqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp

委員会報告 植竹一裕副会長



皆さんこんにちは。
報告のある委員会の方は挙手をお願い致します。

安藤譲治次年度幹事



本日例会終了後、荒牧年度第1回理事役員会を行います。

次年度理事役員の方はご出席下さい。

ニコニコボックス委員会 小野安正委員



本日のニコニコボックスはございませんでした。次回よろしくお願い致します。

卓話

RID2550

第1グループガバナー補佐

公共イメージ委員

ソーシャルメディア並びにIT推進委員

秋間 忍 会員



皆様こんにちは。

地区のソーシャルメディア並びにIT推進委員会に出向している秋間が本日の卓話を担当させていただきます。

私の他に澤田吉夫会員が地区のクラブ奉仕委員会に出向しております。

地区ソーシャルメディア並びにIT推進委員会は、新型コロナ感染拡大防止の観点からオンライン会合、デジタル通信によるミーティング（Zoom）の活用を奨励して参りました。また国際ロータリーにおける目標達成の観点からマイロータリー、クラブセントラルの登録拡大を目指しております。

第1グループでは西那須野ロータリークラブがZoomのよるオンライン例会を積極的に推進し、数々の工夫を取り入れて素晴らしいクラブコミュニケーションの在り方を定着させております。

一方、第1グループにおける直近の話題は、国際医療福祉大学の留学生がこの新型コロナでアルバイト先を失い、日ごろの生活にも困窮されていると聞きいております。ここでも西那須野ロータリークラブ、大田原中央ロータリークラブはすでに留学生への支援活動を始めており、実績をあげつつあります。

お気づきの方も多いと思いますが、黒磯ロータリークラブでは鈴木隆子青少年奉仕委員長のお骨折りにより、ここにありますようなプレート、ブックアクションで青少年奉仕のために使える資金を集めようとしています。読まなくなった本を例会に持ち寄って、その本を読みたい会員が自由に持ち帰り、できればその折に青少年奉仕のために役立てるための資金をご寄付いただくという取り組みです。この度の国際医療福祉大留学生救済、今存続を危ぶまれている黒磯高校インターアクトクラブの支援活動等にこのブックアクション

ンで集めた資金を活用できたらと考えております。今後ともご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

我が国の食品ロスの現状

- 「食品ロス」＝本来食べられるのに捨てられる食品
- 我が国の食品廃棄物等※1は年間2,759万トン、うち食品ロスは643万トン※2
- ・国連世界食糧計画(WFP)による食糧援助量※3(約380万トン)の1.7倍
- 食品ロスの内訳は、
 - ◎事業系廃棄物由来：約352万トン
 - ◎家庭系廃棄物由来：約291万トン
- ・食品ロスの約半分は家庭から

※1 飼料等として有効で取引されるものや、脱水等による減量分を含む
※2 平成28年度推計(農林水産省「環境省」)
※3 国連世界食糧計画(World Food Programme:WFP)2017年実績

食品ロス(推計)の経年変化

	平成24年度推計	平成25年度推計	平成26年度推計	平成27年度推計	平成28年度推計
食品ロス(年間)	642万トン	632万トン	621万トン	646万トン	643万トン
国民1人当たり換算	50kg	50kg	49kg	51kg	51kg

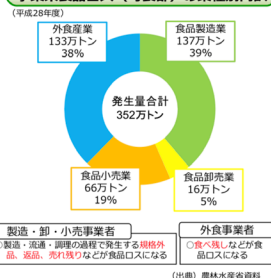
話は変わりますが、日本の人口が急激に減少している一方で世界の人口は増大し続けています。そのような時代の流れの中にあって生活に困窮して食べられないという人がある反面、皮肉にも大量の食料、食品を廃棄されているという現実があります。

世界的にも食料問題、特に食べられずに捨てられてしまう「フードロス」が社会的課題になっております。黒磯ロータリークラブには、こども食堂を運営されている安藤さん、お米の生産、流通に関わっておられる澤田さん、植竹さん、そして産業廃棄物に関わっておられる大島会長他いろいろな方々が食品、食料に関わっておられます。

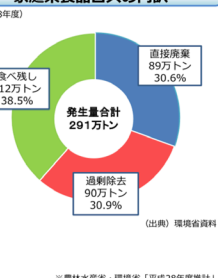
食品ロスの発生要因

- 我が国の食品ロスは643万トン※
- 食品ロスのうち事業系由来は352万トン、家庭系由来は291万トンであり、食品ロス削減には、事業者、家庭双方の取組が必要。

事業系食品ロス(可食部)の業種別内訳



家庭系食品ロスの内訳



持続可能な開発目標(SDGs)と食品ロスの削減

持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)
・2015年(平成27年)9月に、国連の「持続可能な開発サミット」で採択された2016年から2030年までの国際目標。
・貧困を撲滅し、持続可能な世界を実現するために、17のゴール(目標)が設定されている。



★食品ロス関係の記載

目標12：持続可能な生産消費形態を確保する

12.3 2030年までに小売・消費レベルにおける世界全体の一人当たりの食料の廃棄を半減させ、収穫後損失などの生産・サプライチェーンにおける食品の損失を減少させる。

※ 持続可能な開発目標(SDGs)実施指針(抜粋)

食品ロス削減 食品リサイクルの促進	「食品廃棄物の発生抑制等の促進に関する法律」に基づく、食品廃棄物の発生抑制・減量、飼料や肥料等の原料としての再利用等の取組を推進する。	12.2 12.3 12.5	①SDGs小目標12.3に対応する新たな指標(関係省庁と今後検討) ②企業等の食品廃棄物発生抑制等取組 ③国産産品由来のエコフートの生産量目標	消費者庁 農林水産省 環境省
----------------------	---	----------------------	---	----------------------

常識的なこととも思われますが、この社会的課題を解決する上で我々が知っておいた方がよいと思われる情報をこれから皆様と共有、復習したいと思います。また「フードロス」が避けられないという課題を解決するために取り組んでいる事例や、微力ながらITを活用して幼稚園、保育園給食のフードロスをできる限り少なくしようとしている私どもの取り組みについても紹介させていただきたいと思います。

保育園・認定こども園 SAASコミュニケーションシステム

すくすくオンラインとは

保育園・認定こども園における園児の出席情報は、その管理、運営において最も重要であることは周知の通りですが、刻々と提出される欠席届、預かり依頼等、実際の登園、降園情報の職員間共有となると、その運用に課題がないわけではありません。

すくすくオンラインはクラウド上のSAAS(Service as a Software:以下、このサービス)として提供され、保育園・認定こども園が抱える最新の課題、ニーズを解決するための業務、業務ノウハウが細やかに反映され、このサービス利用により以下のことが可能になります。

- 1) 厨房職員の不必要な作業を削減し、無駄な食材廃棄を減らすことができる。
- 2) 給食数の過不足調整からクラス担任を解放し、保育への集中を可能にする。
- 3) 園児送迎/バスの乗降者に日々の欠席者、搭乗予定者を確実に伝えられる。
- 4) 災害、非常時には24時間いつでも園長による一斉メール配信が可能になる。
- 5) 保護者による園内スケジュール、行事予定の参照が24時間いつでも可能になる。
- 6) 保護者による欠席届、預り保育依頼の提出(受理)が24時間いつでも可能になる。
- 7) 保護者による欠席届、預り保育依頼の提出(受理)が3ヶ月先まで可能になる。

マスコミが新型コロナの話題に独占されている間も、我々が元々抱えていた社会的課題が消えてしまったわけではありません。

これらの課題にも関心を失うことなく我々ロータリアンが多くの人々に喜んでいただける奉仕活動に取り組んで行けたらと考えております。

本日はご静聴ありがとうございました。

4月21日欠席(敬称略)

荒井昌一・石山桂子・前田貴宏・和気勝利
吉光寺政雄

前回4月14日分メイクアップ(敬称略)

鳥居輝一

次回例会

令和3年5月12日

担当 青少年奉仕委員会

近隣クラブ例会日

○火曜日 西那須野いとう屋

0287-36-0028

○木曜日 大田原中央/勝田屋記念会館

0287-23-4165

近隣クラブ例会日

○木曜日 大田原/ホテル花月

0287-54-1105

○金曜日 黒羽/ホテル花月

0287-54-1105

会報委員会：藤崎善隆・稲垣政一・高木茂・田中徹・相馬征志